

令和元年 10 月 16 日

第 10 回定例会
議事録

文京区教育委員会

文京区教育委員会議事録

第 11 号

令和 元年 第 10 回 定例会

日時：令和元年 10 月 16 日（水）午後 2 時

場所：教育委員会室

「出席」	教 育 長	加 藤 裕 一
	教育長職務代理者	清 水 俊 明
	委 員	坪 井 節 子
	委 員	小 川 賀 代

「説明のために出席した教育局職員」	教 育 推 進 部 長	山 崎 克 己
	教 育 総 務 課 長	吉 田 雄 大
	学 務 課 長	木 村 健
	教育推進部副参事	岩 田 雅 治
	教 育 指 導 課 長	松 原 修
	児 童 青 少 年 課 長	中 島 一 浩
	教育センター所長	矢 島 孝 幸
	真砂中央図書館長	内 藤 剛 一

「書記」	庶 務 係 長	渡 部 雅 弘
	庶 務 係 主 事	大 塚 功

令和元年

第10回教育委員会定例会

令和元年10月16日（水）午後2時

場 所 教育委員会室

議事録署名人 小川賀代委員

第1 議事録の承認

議事録第8号（令和元年第8回定例会）

議事録第9号（令和元年第5回臨時会）

議事録第10号（令和元年第9回定例会）

第2 議案の審議

第44号議案 「第66回東京都小学校視聴覚教育研究大会」の後援名義の使用承認について

第45号議案 「ママ・パパ必見！2020年教育が変わる！子どもの「やる気」を育てる方法とは」の後援名義の使用承認について

第3 報告事項

（1）令和元年9月定例議会の審議概要について

（資料第1号）

第4 その他の事項

「開 会」

(14:05)

○加藤教育長 それでは、第10回教育委員会定例会を始めさせていただきます。

まず、出席状況から確認させていただきます。田嶋委員が欠席、その他の委員は全員出席していただいております。理事者も全員出席しております。

本日の議事録署名人ですが、小川委員にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

(はい)

第1 議事録の承認

議事録第8号（令和元年第8回定例会）

議事録第9号（令和元年第5回臨時会）

議事録第10号（令和元年第9回定例会）

○加藤教育長 それでは、議事日程に入らせていただきます。

第1「議事録の承認」です。議事録第8号から第10号がお手元にあると思います。事前にご確認いただいておりますが、なお訂正の必要がありましたら、この会の終了までにお申し出いただきたいと存じます。よろしく願いいたします。

第2 議案の審議

第44号議案 「第66回東京都小学校視聴覚教育研究大会」の後援名義の使用承認について

○加藤教育長 それでは、議案の審議に入らせていただきます。本日は2件です。

初めに、第44号議案「第66回東京都小学校視聴覚教育研究大会」の後援名義の使用承認について、この件について説明をお願いいたします。

○教育推進部長 ただいま議題となりました第44号議案、「第66回東京都小学校視聴覚教育研究大会」の後援名義使用承認につきまして、提案理由をご説明いたします。

1 ページの後援名義使用申請書をご覧ください。

申請団体は、東京都小学校視聴覚教育研究会。

代表者は、古谷尚律でございます。

事業名は、「第66回東京都小学校視聴覚教育研究大会」。

令和元年11月8日の開催を予定しております。

実施場所は、湯島小学校でございます。

本事業は、都内及び全国の小学校教員に研究成果を発表することで、視聴覚教育や情報教育の普及に資するものでございます。

対象は、小学校教員。

参加費は、都内の教員につきましては無料でございます。

このほか、資料といたしまして、2ページに実施要綱、3ページに予算書、4～6ページに会則及び役員名簿がございます。

以上の内容を後援名義等使用承認要綱の規定に照らし、後援名義の使用を承認したいと考えるものでございます。よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○加藤教育長 この説明につきまして、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

○清水委員 「他団体の共催、後援等」のところの「後援（申請中）」で、文京区立小学校長会、文京区小学校教育研究会とございますが、これは区の公の会なんでしょうか。それともプライベートなものなんでしょうか。

○教育総務課長 こちらは公の会でございます。

○教育指導課長 校長会は、小学校の校長で組織している会ということになります。研究会は、小学校の教員で組織しており、国語、算数など教科ごとに部会がございまして、視聴覚なども入っております。

○坪井委員 2つあります。

まず、小学校視聴覚研究大会は、66回もあるということは相当古い歴史もあるだろうし、あっておかしくない教育研究だと思うのですが、文京区でこれを初めて後援するというのはどうしてなのかというのが1点です。

それから2点目は、備考に「同日に文京区教育研究協力校としての研究発表を開催予定」とあるのは、湯島小学校で研究発表をその日にやるということなんでしょうか。

その2点、お願いします。

○教育総務課長 どうしてということなのですが、たまたま文京の地で行うのが今回が初めてということなので、今回後援名義ということになっているのかなと我々認識しております。

また、同日といったような形で、湯島のほうで、委員がご指摘になったようなことは行われます。

○坪井委員 研究発表会は文京区の教育委員会主催ですか。

○教育指導課長 当日は、さまざま、例えば前回ご審議いただいた視聴覚教育の総合全国大会であ

るとか、放送教育研究会全国大会などとも兼ねております。また、東京都の研究指定校ということで、湯島小学校が2年目の研究発表ということもございまして、そういったものを全て兼ねてこの日にやるというところです。

文京区でなぜ初めてかというようなお話がございましたけれども、例えば算数の全国大会とか、国語の全国大会のような場合もそうですが、そういった研究に熱心な校長先生とか教員がいた場合には、全国大会をぜひその学校でお願いしたいというようなお話があつて、そこが会場校になるということがございます。この視聴覚等の研究も、昨年度は湯島小学校でプログラミング教育の研究発表をしたものですから、来年度はぜひ文京区でというようなお話があつたと理解しております。

○加藤教育長 ほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、お諮り申し上げます。ただいまの件につきまして、提案理由のとおりお認めしてもよろしいでしょうか。

(異議なし)

○加藤教育長 それでは、そのように決定させていただきます。

第45号議案 「ママ・パパ必見！2020年教育が変わる！子どもの「やる気」を育てる方法とは」の後援名義の使用承認について

○加藤教育長 続きまして、第45号議案「ママ・パパ必見！2020年教育が変わる！子どもの「やる気」を育てる方法とは」の後援名義の使用承認について、この件について説明をお願いいたします。

○教育推進部長 ただいま議題となりました第45号議案、「ママ・パパ必見！2020年教育が変わる！子どもの「やる気」を育てる方法とは」の後援名義使用承認につきまして、提案理由をご説明いたします。

1ページの後援名義使用申請書をご覧ください。

申請団体は、一般社団法人DAKKO（だっこ）。

代表者は、横張寿希でございます。

事業名は、「ママ・パパ必見！2020年教育が変わる！子どもの「やる気」を育てる方法とは 中山芳一先生講演会」。

令和元年11月9日の開催を予定しております。

実施場所は、不忍通りふれあい館でございます。

本事業は、2020年度より始まる新しい学習指導要領を踏まえ、小学生のうちから身につけるべき能力を、保護者や教職員に伝えることを目的とするものでございます。

対象は、保護者、学校教職員。

参加費は、無料です。

このほか、資料といたしまして、2に事業のチラシ、3ページに予算書、4～10ページに定款がございます。

以上の内容を後援名義等使用承認要綱の規定に照らし、後援名義の使用を承認したいと考えるものでございます。よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○加藤教育長 この件につきまして、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

○坪井委員 申請書の裏にチラシがついていて、そのチラシの一番上に「特別講義・民間学童保育「こどもの森」説明会」とあるのですけれども、「こどもの森」説明会というのは、今の特別講義とどういう関係にあるのでしょうか。

○教育総務課長 私どもの認識しているところだと、同じチラシの中ほどから上のところ、11月9日10時から12時という日付のところを下に行きますと、タイムテーブルで10時から11時が中山先生講義、11時から12時が民間学童保育「こどもの森」せんだぎ説明会と入っているので、そのことを指しているのかなというふうには考えております。

○坪井委員 民間学童保育というのはどういうことですか。

○児童青少年課長 実は学童保育につきましては、国の制度上認めている学童保育、及び民間でやられている学童保育、大きく分けて2つございます。

民間学童保育というのは、その中でも児童福祉法や文京区放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例で定められた基準を満たした学童保育と、そうではなくて、例えば英会話教室だったり、要するに、民間でお子さんを預かっている学童保育と2種類ございます。

「こどもの森」せんだぎにつきましては、特に文京区で制度にのっとった学童保育としての登録もございませんし、そのお話もありませんので、純粹に民間で子どもをお預かりしている託児所とは言いませんけれども、子どもをお預かりしている事業所といった位置づけになろうかと思えます。

○清水委員 「こどもの森」せんだぎに関しては、例えばその規模とか場所というのはもう既に決まっているのでしょうか。

○児童青少年課長 恐らく規模とか場所は決まっておりますが、区に全然登録もございませんし、報告義務もございませんので、区のほうでは一切関知はしてないし、把握はしてございません。

○清水委員 もう1つ、もともと一般社団法人DAKKOは、岡山にあって、この10月中に千駄木にということなんですけれども、これまでの活動というのは、中心が岡山だったのか、あるいは東京でも活動していたのかということに関してはいかがでしょうか。

○教育総務課長 私どものほうも、所在地が都内ではないので、確認はしたところです。一般社団法人DAKKOというところは、例えば子育ての相談等のワークショップとか、そういったような活動は、区内で何回か行っていたというところまでつかんではございます。

○小川委員 事業予算書の収入のところが7万7700円計上されているのですけれども、今回の参加費はゼロです。しかも主催が株式会社ペタゴと一般社団法人DAKKOということです。民間学童保育は株式会社ペタゴがやっている事業で、その事業の中の講演会事業費みたいなものが計上されているのか、どういったところから出てきた予算になるのでしょうか。

○教育総務課長 私どものほうでもその詳細までは確認がとれてないのですが、今、小川委員ご指摘のとおり、実はこのチラシにもあるとおり、民間の学童保育施設の株式会社ペタゴと、今回の講演を主催している一般社団法人DAKKOの代表者は同じ方ということです。どういうところからこの辺の金額が出ているかということまではつかんではないのですが、その代表者は一緒だということを確認はしております。

○坪井委員 民間学童保育「こどもの森」というのが、どういう学童保育かがわからないまま、しかも、特別講義と一緒にやるということは、大学入試に向けてみたいなどころを実際に実践しますよということを、塾的なものを何か予想してしまうわけですが、その内容はともあれ、これを一緒にやる会を教育委員会が後援するということは、特別講義だけを後援しているつもりでも、民間学童保育「こどもの森」説明会も一緒に後援したというふうになりませんか。

○教育総務課長 このチラシだけを見た区民の方等が、今、坪井委員がおっしゃるような誤解をしてしまう可能性というのは私も否定はできないのかなと。清水職務代理者のほうからもご指摘があったように、一番上のところに特別講義・民間学童保育「こどもの森」説明会というのが入っているという形になってしまうので、このチラシだけを見たときには、坪井委員のおっしゃるような指摘、誤解というものを全く与えないかといったら、そうではないのかなというところは否めないというふうには考えております。

○坪井委員 そうすると、文京区がやっている学童保育とは全然違うかもしれない民間学童保育の説明会が行われる講演会を、文京区の教育委員会が後援するというのは、その意味がよくわからないのです。そこは違うんですよみたいな後援の仕方ということなんですか。

○加藤教育長 では、私のほうから。そもそも後援名義の使用申請が来た段階で、教育委員会の事務局のほうで、これについては後援するかしないかというフィルターをかけて教育委員会に提案するという形ではなく、こういったものについても、教育委員の方のご意見をいただいた上で判断しましょうということです。今回については、先ほど来お話があるように、民間学童保育という部分が、営利的なところにひっかかるのではないかという懸念もありますけれども、特別講演というところもありますので、ここでご意見をいただいて、その結果によりまして、今回、使用承認をするかしないかというのは決めたいと思います。坪井委員のように、ちょっとおかしいという意見もいただいていますし、ほかの委員も、ここはどうなんですかと聞かれています。それについて、こういうふうに思いますというご意見があれば発言していただいて、合議制ですので、最終的にお認めするかしないかを決めたいと思います。

○清水委員 私もやはり坪井委員と同じで、民間学童保育に関してコマーシャルとなるようなところを文京区の教育委員会が後援するというのはふさわしくないのかなというふうには思います。

○小川委員 私も両委員と同じ意見になります。チラシのほうも「希望者の方限定で」とか書かれていますけれども、来年度開設予定のデンマーク流「学童保育」の説明会をしますと書かれていて、このチラシの中にそのまま「後援・文京区教育委員会」と入ってしまうのは、教育委員会としてこの民間学童を支援しているというふうに捉えられかねないかなと思いますので、今回はふさわしくないのではないかなと思います。

○加藤教育長 私のほうもそういった懸念があるなというのを感じているところです。

それでは、この件についてはお認めしないということによろしいでしょうか。

(異議なし)

○加藤教育長 それでは、そのように決定させていただきます。

第3 報告事項

(1) 令和元年9月定例議会の審議概要について

○加藤教育長 続きまして、報告事項に入らせていただきます。本日は1件です。

「令和元年9月定例議会の審議概要について」、この件について説明をお願いします。

○教育総務課長 資料第1号でございます。文教委員会資料ということで、報告事項、それから、一般質問の局長答弁を記載したものを資料としておつけしております。詳細については、文教委員会の議事録等々をご確認いただければと思います。

文教委員会の一般質問で、この報告事項のほかに出たものを幾つかピックアップしてご紹介をさせていただきます。また、こちらについても、私のほうでお話ししたものの印象というのがございますので、前回もお話ししたとおり、それは議事録等でお読みいただいて、確認をしていただきたいと思っております。

一般質問では、岩井臨海学校についての質疑が行われました。例えばこれの代替プランはどういうものか、などのご質疑をいただいたところがございます。また、図書館のWi-Fiについて、電源などについてのご質問もございました。また、学校給食の無償化についてのご質問もございました。また、教育委員会で行った後援名義、先日の写真展についてのご質疑、例えば手続論であったり、歴史的な認識等の部分についてもご質問等があったところをお伝えさせていただきます。

以上でございます。

○加藤教育長 今の説明は、委員会の質疑の内容の要点というか、一部を説明させていただいたということですよ。

○教育総務課長 はい、そうです。

○加藤教育長 こちらの資料自体は定例会の一般質問ですけれども、その後、委員会の中で、大きく言えば、今言ったような意見、ご質問をいただいたということです。一部こちらの中にも入っておりますけれども、また議事録のほうを確認していただいて、何かあればご意見をいただければと思います。特にきょうの時点で何かご意見はございますでしょうか。

○清水委員 岩井臨海学校の廃止については区民の方からも直接ご連絡をいただいたりして、我々も考えなければいけないところだとは思っておりますけれども、もう一回今後の展望ということを具体的にご説明いただいてよろしいでしょうか。

○学務課長 岩井学校につきましては、9月の上旬に保護者向けに、今までの経緯のご説明を文書で配布いたしました。今、宿泊施設がなかなか確保できないという状況について報告をさせていただき、今後、決定していくに当たって、皆様のご意見を伺っていきながら決定していきたいという旨のご説明をし、今保護者の方からご意見をいろいろ頂戴しているところがございますので、そういったものを取りまとめた後に、今後の方向性について決めていきたいと考えております。

○清水委員 具体的な今後の説明会の日程とかはまだ決まってないということよろしいですか。

○加藤教育長 あと代替案を検討しているという部分も補足してください。

○学務課長 代替につきましても、今、我々、文京区が交流している各自治体のほうにさまざまな

自然体験プランはないかということをお互いに聞いて、8自治体に調査をし、6自治体からこうい
ったことができるというプランをいただいておりますので、その中身を精査しているところでご
ざいます。

○清水委員 それは海と関係したことです。

○学務課長 海もございませし、例えば山とか、農業体験とか、さまざまなプランがあります。そ
ういったものを各自治体、金額等々のこともございませしので、そこも今精査しているところでご
ざいませし。

○清水委員 わかりませし。海に限ったことではないうことませし。

○加藤教育長 前回かその前かの教育委員会の中でも、今回の岩井のこと、海の体験というのも
必要なんじやないうご意見をいただいませしので、海も含めて自然体験ということ、検討
しているところませし。

○清水委員 なかなか難しいところはあるのかもしれませんが、できれば区民もそれをきつと要
望しているんだと思ひませし。よろしくお願ひませし。

○加藤教育長 ほかにひかがでしうか。よろしいでしうか。

それでは、以上で用意した案件は全てでございませし。

第4 その他の事項

○加藤教育長 そのほか何かございませしたら、お願ひいたしませし。よろしいでしうか。

それでは、第10回定例会はこれをもって終了させさせていただきます。ありがとうございませし。

(14:30)

令和元年 10 月 16 日

議事録署名人

教育長

委員